

◆佐藤 富一郎(さとう とみいちろう / 1901.8.3～1969.10.26)

＜会社経営者・江戸川区長＞

新潟県高田市（現・上越市）南本町3丁目出身。
 大正5（1916）年、高田市立高田商工学校創立時に商科3年生として編入学し、翌年に乙種第1回卒業生として11名の級友と共に卒業した。
 卒業後は就職のために上京し、後に大同レザー株式会社を興し、経営者として事業運営にその手腕を発揮した。また、東京都江戸川区の議員・区長も務め、地域の発展に貢献した。
 昭和44（1969）年10月26日死去（享年68歳）



大正6年 乙種第1回卒業生(商科)

◆公人としての経歴(公職歴)

出典:江戸川区役所

【江戸川区議会】

◎区議会議員

- ・当選回数：2回（8年）
- ・在職期間：昭22.4.30～30.5.1
- ・産業経済委員長：昭24.5～25.7
- ・自動艇競技場招致実行委員長：昭26.3～26.4
- ・自動艇競技場招致実行副委員長：昭26.5～27.6
- ・決算委員長：昭27.3～27.3
- ・副議長：昭27.5～28.5
- ・議長：昭28.5～29.5
- ・税外収入調査委員長：昭29.12～30.4

◎会 派

- ・自由クラブ幹事長：昭26・29
- ・日本民主党幹事長：昭30

【江戸川区】

- ・江戸川区長：昭30.7.16～34.7.15



◆奨学資金寄贈と佐藤記念六華会館

昭和37(1962)年12月26日、東京電力㈱の株式(2,400株、120万円)を母校高田商業高等学校同窓会に寄贈。また同時に、地元7名の有志諸氏が東京電力増資分800株(合計32万円)を引き受け寄贈し、佐藤氏寄贈分の株式と合わせて昭和39(1962)年に六華奨学金が発足した。その後、有償増資・無償増資を合わせて最終的に15,163株となった。

昭和59年、創立70周年記念事業を進めるに当たり、南本町3の旧校舎時代の六華商事・六華銀行の残余財産の用途について検討され、県当局との幾度かの交渉過程を経て校地南端にあった体育クラブ室(合宿所)の改善として新たな建物の建設・寄付採納(県有財産)が認められ、現会館の建設に至ることになった。

会館建設に当たり、六華商事・銀行残余財産に加え、前述の寄贈東京電力株式を売却し、奨学金基金として3,000万円を金銭信託として残し、残りを会館建設資金に充てるべく故佐藤富一郎氏夫人の了解をいただいた。

以上のような経過を経て平成元年に会館が完成し、会館名を「佐藤記念六華会館」とした。

